

メイラ Ankle locking plate system

Salus Loc Fibula lateral



Salus Loc Fibula posterolateral



Salus Loc Fibula lateral Salus Loc Fibula posterolateral

承認番号: 30100BZX00147000
販売名: メイラ Ankle locking plate system

メイラ Ankle locking plate system

Salus Loc Fibula lateralとSalus Loc Fibula posterolateralは腓骨遠位端(果部)骨折及びこれを含む腓骨骨幹部骨折の治療を目的としたアナトミカルロッキングプレートです。

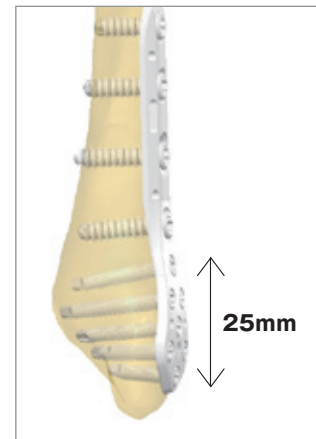


Salus Loc Fibula lateral

Plate Design of Salus Loc Fibula lateral

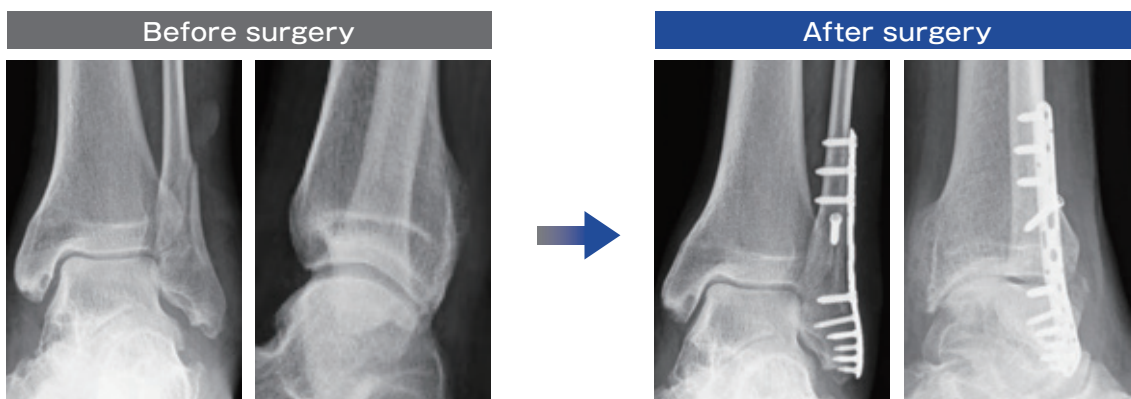
■プレート遠位部のホール構成

Salus Loc Fibula lateralはプレート遠位端より25mm以内に最大7本の2.7mmロッキングスクリューが挿入可能です。(プレートの遠位端から10mmの範囲には3本挿入可能です。)



Case report using Salus Loc Fibula lateral

提供: 福岡徳洲会病院



Salus Loc Fibula lateralは外側設置タイプ、
Salus Loc Fibula posterolateralは後外側設置タイプとなり、
症例に合わせて選択することができます。



Salus Loc Fibula posterolateral

Plate Design of Salus Loc Fibula posterolateral

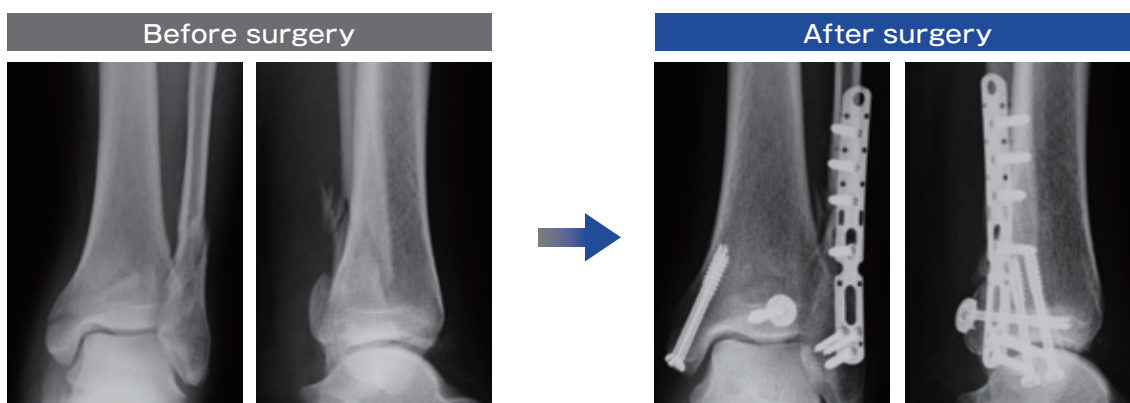
■プレート遠位部のホール構成

Salus Loc Fibula posterolateralは遠位部は長穴も含めて4本のスクリュー挿入が可能です。そのうち3本はロック可能なスクリュー配置を実現しました。(3.5mmロックコーティカルスクリュー1本、2.7mmロックスクリュー2本)



Case report using Salus Loc Fibula posterolateral

提供：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター



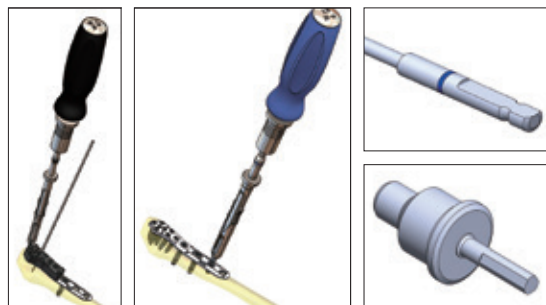
Instruments

■手術器械の改良で術中のスムーズな操作をアシスト

スクリューに応じて手術器械にカラーリングを施しており、術中のスムーズな操作をアシストします。

- ・2.7mmスクリュー / 2.7mmロッキングスクリュー：黒色
- ・3.5mmノロッキングコーティカスクリュー / 3.5mmロッキングコーティカスクリュー：青色

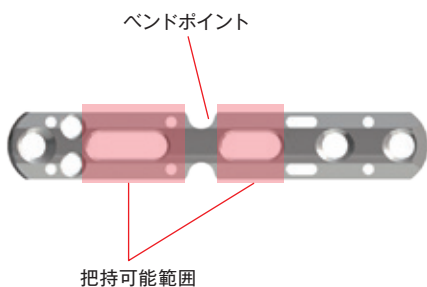
ドリル後端形状をワンタッチ仕様にしたことでスムーズな脱着が可能となりました。従来のヤコブスチャックにも対応出来るチャックアダプターも標準装備しています。



ベンダー（可動タイプ/548B-016）



Salus Loc Fibula posterolateralはベンドポイントを設けています。ご使用の際はベンドポイントにてベンディング操作を実施し、骨に密着可能な形状に曲げて使用してください。



※内部にはバネ機構を搭載しています。

プレートベンディング時の注意事項

- 注意:** プレートを曲げる方向に注意してください。
- 注意:** 把持可能範囲に注意してベンドして下さい。スクリューホールに変形が起き、ロッキングできない等の不具合が生じることがあります。

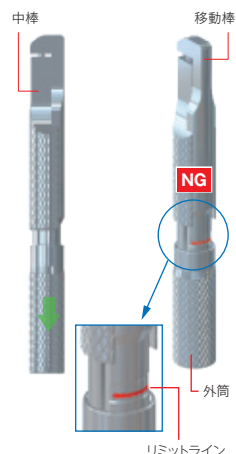


Salus Loc Fibula posterolateral ベンディング方法

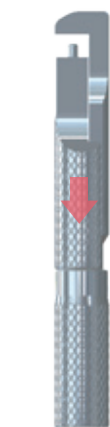
↑ 動作に付随して動く ↑ 手で動かす

- ① 外筒を反時計回りに回して、ロックを解除してください。

注意: リミットラインより下まで外筒を回すとベンダーが分解してしまいます。

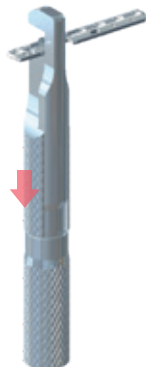


- ② 中棒を矢印方向にスライドさせ把持部を開かせてください。



- ③ ②の状態では把持部にプレート装着します。その際、中棒の突起をプレートの長穴に通します。

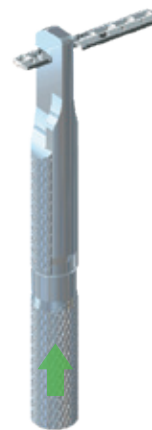
注意: 固定する長穴は2箇所あり、どちらも固定可能です。



- ④ 中棒から手を放すと、バネの力で、中棒が矢印方向に移動し、プレートが仮固定されます。



- ⑤ 外筒を時計回りに回して、プレートを完全に固定してください。



- ⑥ ベンダー（固定タイプ/548B-015）の溝をプレートに挿し込み、ベンドポイントにて曲げてください。



オプション：ラグスクリュー法用ガイド (548B-014)

3.5mmノッキングコティカスクリューはラグスクリュー法による固定も可能です。

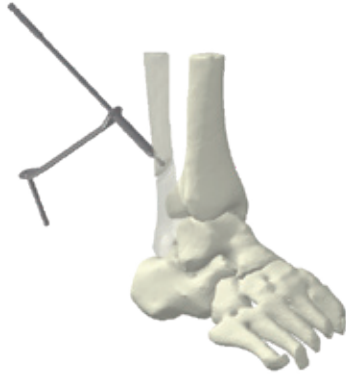


3.5mmドリル用スリーブ

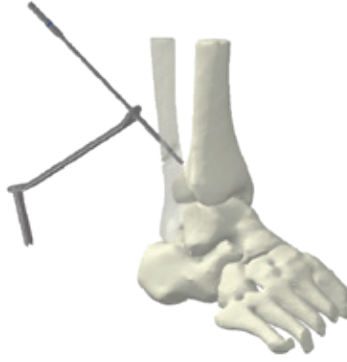
2.8mmドリル用スリーブ

ラグスクリュー法用ガイド使用方法

① 3.5mmドリル用スリーブをあてがい、3.5mmドリル (500B-204-35145) を挿入し、骨折線の手前まで骨孔を作製してください。



② ①で作製した骨孔に2.8mmドリル用スリーブを差し込み、2.8mmドリル (500B-204-28150) を挿入し、対側皮質骨までドリリングをしてください。



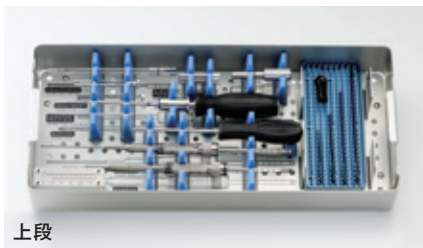
③ トルクリミテーションドライバー (識別色: 青色 / 503B-500-020) を用いて3.5mmノッキングコティカスクリューを骨折線をまたいで挿入し、対側の骨を引き寄せます。



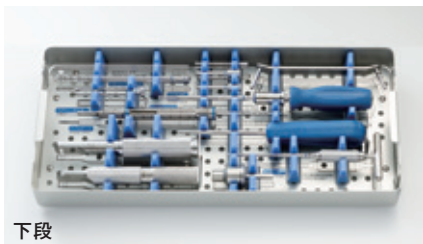
トルクリミテーションドライバーの使用上の注意

トルクリミテーションドライバーのリミットトルク2.0N・mは、プレート越しにスクリューを挿入した場合に、スクリューが破損しない様に設定されています。当該方法にてスクリューを挿入する際は、必ずしもリミットトルク迄締める必要はなく、症例個々の骨硬度等を勘案し適切な挿入トルクにて締結を実施して下さい。

手術器械セット



上段



下段

販売名: Salus Loc Fibula 手術器械セット
届出番号: 21B1X00003000314

上段

名称	カタログ番号	セット人数
ターゲットデバイス*1	548B-001	1
テンプレート*1	071B-001-004	1
テンプレート*1	071B-001-006	1
テンプレート*1	071B-001-009	1
テンプレート*1	071B-001-012	1
テンプレート*2	071B-002-005	1
テンプレート*2	071B-002-007	1
テンプレート*2	071B-002-009	1
ドリル	500B-204-20140	2
トルクスモールドライバー	503B-012-T08	1
トルクスソリッドドライバービット	503B-105-T08-BLK	1
トルクリミテーションドライバー	503B-500-010	1
デプスゲージ	548B-002	1
デプスゲージ	548B-003	1
タップシャフト	548B-005	1
ロッキングドリルガイド	548B-008	3
六角レンチ	548B-010	1
スクリューホルダー	548B-012	1

*1: Salus Loc Fibula lateral専用手術器械です。

*2: Salus Loc Fibula posterolateral専用手術器械です。

下段

名称	カタログ番号	セット人数
ガイドピン	003A-015-16150	3
ドリル	500B-204-28150	2
トルクスドライバー	503B-005-T15-BLU	1
トルクスソリッドドライバービット	503B-105-T15-BLU	1
トルクリミテーションドライバー	503B-500-020	1
デプスゲージ	548B-004	1
タップシャフト	548B-006	1
ガイド	548B-007	1
ロッキングドリルガイド	548B-009	3
ガイドピンスリーブ	548B-011	2
スクリューホルダー	548B-013	1
ベンダー (固定タイプ)	548B-015	1
ベンダー (可動タイプ)	548B-016	1
ワンタッチハンドル	NRS-M-041	1
チェックアダプター	NRS-M-056	1

オプション

ドリル	500B-204-35145	1
ラグスクリュー法用ガイド	548B-014	1

Salus Loc Fibula lateral Surgical Technique

① プレート形状の確認

骨折を可能な限り整復し、テンプレートにて適切なプレート長を確認して下さい。また、図のようにテンプレートの近位ホールにロックングドリルガイド(識別色:青色/548B-009)を取り付け、取手として使用できます。



② ターゲットデバイスの装着

プレートをパッケージより取り出し、図のようにターゲットデバイスを取り付けて下さい。取り付けには、六角レンチが使用可能です。なお、この製品は長穴を除く全てのスクリーホールがロックングホールになっています。

遠位部のロックングホールには2.7mm径のスクリーが挿入可能です。近位部のロックングホールには3.5mm径のスクリーが挿入可能です。



③ プレートの固定

① スクリューホールの作製

適切な位置にプレートを設置し、必要に応じて1.6mmガイドピンにてプレート仮固定を行います。図示赤丸部分が使用可能なガイドピンホールです。長穴にドリルガイドと2.8mmドリルを用いて、スクリーホールを作製して下さい。

注意: プレート位置の微調整を行う場合を考慮して、長穴の中心へスクリーホールを作製して下さい。



② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:青色/フックタイプ/548B-004)にてスクリー長の計測を行って下さい。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコートカルによる固定(3.5mm/ロックングコティカル/スクリュー使用)を推奨します。

注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリーを使用することで、反対側へのスクリー突出を抑えることが出来ます。



③ スクリューの挿入

測定した値より所定の3.5mm/ロックングコティカル/スクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて挿入を行って下さい。

注意: 骨が硬いためドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行った上で再度、スクリー挿入を行って下さい。



④ 遠位部の固定

① スクリューホールの作製

ターゲットデバイス越しにロックングドリルガイド(識別色:黒色/548B-008)を取り付けます。その後2.0mmドリルを用いてスクリーホールを作製して下さい。



② スクリュー長の測定

ロックングドリルガイド越しにデプスゲージ(識別色:黒色/ストレートタイプ/548B-002)にてスクリー長の計測を行って下さい。

注意: バイコートカルで測定する場合には、デプスゲージ(識別色:黒色/フックタイプ/548B-003)を用い、ロックングドリルガイドを外して計測を行って下さい。



③ スクリューの締結

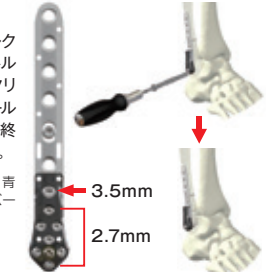
測定した値より所定の2.7mmロックングスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:黒色/503B-500-010)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回して下さい(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリーホールについても同様の操作にて固定して下さい。スクリー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認して下さい。

注意: 右図赤矢印のホールは3.5mm径のスクリーを挿入するため、青色の識別色がついたロックングドリルガイド、ドリルおよびドライバーをご使用ください。

ロックングスクリューの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用下さい

●オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合

●オーバートルクの場合: ロックング機構の破壊および、抜去困難例の発生
●トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生



⑤ 近位部の固定

遠位部を固定後、ターゲットデバイスを六角レンチ若しくはT8トルクススモールドライバーを使用して、プレートから取り外します。

■ノンロックングスクリューを用いて固定する場合

① スクリューホールの作製

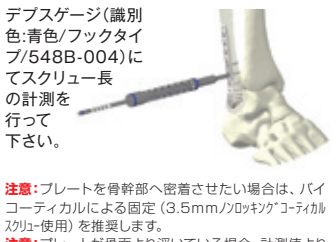
ドリルガイドおよび2.8mmドリルを用いて、スクリーホールを作製して下さい。



② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:青色/フックタイプ/548B-004)にてスクリー長の計測を行って下さい。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコートカルによる固定(3.5mm/ロックングコティカル/スクリュー使用)を推奨します。
注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリーを使用することで、反対側へのスクリー突出を抑えることが出来ます。



③ スクリューの挿入

測定した値より所定の3.5mm/ロックングコティカル/スクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて挿入を行って下さい。残りのスクリーホールについても同様の操作にて固定して下さい。スクリー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認して下さい。

注意: 骨が硬いためドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行った上で再度、スクリー挿入を行って下さい。



■ロックングスクリューを用いて固定する場合

① スクリューホールの作製

ロックングドリルガイド(識別色:青色/548B-009)を図のように取り付け、2.8mmドリルを用いてスクリーホールを作製して下さい。



② スクリュー長の測定

ロックングドリルガイドを外し、デプスゲージ(識別色:青色/フックタイプ/548B-004)にてスクリー長の計測を行って下さい。



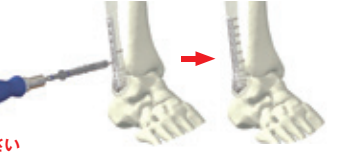
③ スクリューの締結

測定した値より所定の3.5mm/ロックングコティカル/スクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回して下さい(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリーホールについても同様の操作にて固定して下さい。スクリー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認して下さい。

ロックングスクリューの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用下さい

●オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合

●オーバートルクの場合: ロックング機構の破壊および、抜去困難例の発生
●トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生



⑥ プレートの抜去方法

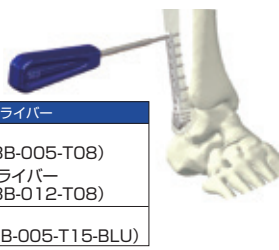
① スクリューの抜去について

スクリーを抜去を行う際には、必ず抜去専用ドライバーを用いて抜去を行って下さい。スクリーとドライバーの関係は表の通りです。

注意: 抜去の際は、遠位の2.7mmロックングスクリューによるプレート拘束力を除去する為、必ず近位のスクリーより抜去を開始し、近位部の抜去後、遠位部の抜去を行って下さい。

注意: トルクリミテーション機構は正回転時のみ正確な値を示す様に調整されており、逆回転には対応していません。この為、トルクリミテーションドライバーを抜去に用いた場合、故障の原因となります。

使用箇所	スクリー径	抜去用ドライバー
遠位部	2.7mm	・トルクスドライバー (識別色:黒色/503B-005-T08)
		・トルクススモールドライバー (識別色:黒色/503B-012-T08)
近位部	3.5mm	・トルクスドライバー (識別色:青色/503B-005-T15-BLU)



② プレートの抜去について

スクリーを全て抜去した後、プレートを骨面より取り去って下さい。



Salus Loc Fibula posterolateral Surgical Technique

① プレート形状の確認

骨折を可能な限り整復し、テンプレートにて適切なプレート長を確認して下さい。また、図の様にテンプレートの近位ホールにロッキングドリルガイド(識別色:青色/548B-009)を取り付け、取手として使用できます。



② 骨幹部の長穴の固定

① スクリューホールの作製

適切な位置にプレートを設置し、必要に応じて1.6mmガイドピンにてプレート仮固定を行います。図示赤丸部分が使用可能なガイドピンホールです。骨形状に応じてペンディングを行うことができます。骨幹部の長穴にドリルガイドおよび2.8mmドリルを用いて、スクリューホールを作製して下さい。

注意: プレート位置の微調整を行う場合を考慮して、長穴の中心へスクリューホールを作製して下さい。

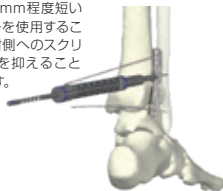


② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:青色/フックタイプ/548B-004)にてスクリュー長の計測を行って下さい。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコーティカルによる固定(3.5mm/ノッキングコティカスクリュー使用)を推奨します。

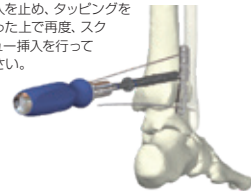
注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリューを使用することで、反対側へのスクリュー突出を抑えることが出来ます。



③ スクリューの挿入

測定した値より所定の3.5mmノッキングコティカスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて挿入を行って下さい。

注意: 骨が硬いため、ドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行った上で再度、スクリュー挿入を行って下さい。



③ 遠位部の長穴の固定

① スクリューホールの作製

遠位側の長穴にドリルガイドおよび2.8mmドリルを用いて、スクリューホールを作製して下さい。



② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:青色/フックタイプ/548B-004)にてスクリュー長の計測を行って下さい。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコーティカルによる固定(3.5mm/ノッキングコティカスクリュー使用)を推奨します。

注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリューを使用することで、反対側へのスクリュー突出を抑えることが出来ます。



③ スクリューの挿入

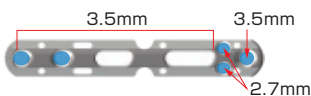
測定した値より所定の3.5mmノッキングコティカスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて挿入を行って下さい。

注意: 骨が硬いため、ドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行った上で再度、スクリュー挿入を行って下さい。



④ ロッキングスクリューの固定

プレートホールに対応するスクリューの径は右図赤矢印の通りです。図示青丸部分がロッキング可能なホールです。各ロッキングスクリューに対応する手術器械は表の通りです。



	3.5mm径のスクリュー	2.7mm径のスクリュー
対応するドリル径	2.8mm	2.0mm
対応するデプスゲージ	548B-004 (識別色:青色/フックタイプ)	548B-002(識別色:黒色/ストレートタイプ) 548B-003(識別色:黒色/フックタイプ)
対応するロッキングドリルガイド	548B-009(識別色:青色)	548B-008(識別色:黒色)

① スクリューホールの作製

各ロッキングホールに対応するロッキングドリルガイドを図のように取り付け、対応するドリルを用いてスクリューホールを作製して下さい。

注意: 3.5mm径のロッキングスクリューにはロッキングドリルガイド(識別色:青色/548B-009)と2.8mmドリルを、2.7mm径のロッキングスクリューにはロッキングドリルガイド(識別色:黒色/548B-008)と2.0mmドリルを使用して下さい。



② スクリュー長の測定

ロッキングドリルガイドを外し、デプスゲージにてスクリュー長の計測を行って下さい。

注意: 2.7mm径のスクリューでモノコーティカルで測定する場合のみ、ロッキングドリルガイド越しに行ってください。



③ スクリューの締結

測定した値より所定の3.5mmロッキングスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて、トルクリミットが懸かるまで確実にドライバーを回して下さい(トルクリミットが懸かれば、ドライバーが空転します)。残りのスクリューホールについても同様の操作にて固定してください。スクリュー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認して下さい。

注意: 2.7mm径のスクリューを挿入するときは、黒色の識別色がついたロッキングドリルガイド、ドリルおよびドライバーをご使用ください。

注意: なお、1.6mmガイドピンへの接触を防ぐため、2.7mmロッキングスクリューホール(図示青丸部分)へのドリリングの前に、近接するガイドピンホールにある1.6mmガイドピンは必ず抜去して下さい。

ロッキングスクリューの締結には、必ずトルクリミテーションドライバーをご使用下さい

オーバートルクや締結トルク不足により発生する不具合

- オーバートルクの場合: ロッキング機構の破壊および、抜去困難例の発生
- トルク不足の場合: スクリューのバックアウトに伴う整復不良の発生



⑤ ノンロッキングスクリューを用いて固定する場合

① スクリューホールの作製

ドリルガイドおよび2.8mmドリルを用いて、スクリューホールを作製して下さい。

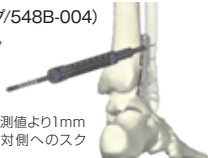


② スクリュー長の測定

デプスゲージ(識別色:青色/フックタイプ/548B-004)にてスクリュー長の計測を行って下さい。

注意: プレートを骨幹部へ密着させたい場合は、バイコーティカルによる固定(3.5mm/ノッキングコティカスクリュー使用)を推奨します。

注意: プレートが骨面より浮いている場合、計測値より1mm程度短いスクリューを使用することで、反対側へのスクリュー突出を抑えることが出来ます。



③ スクリューの挿入

測定した値より所定の3.5mmノッキングコティカスクリューを選択し、トルクリミテーションドライバー(識別色:青色/503B-500-020)にて挿入を行って下さい。残りのスクリューホールについても同様の操作にて固定してください。スクリュー固定を終えたら、整復位等に問題ないことをイメージ等で確認して下さい。

注意: 骨が硬いため、ドライバーが空転する恐れがあると判断した場合は、無理せず一旦挿入を止め、タッピングを行った上で再度、スクリュー挿入を行って下さい。



⑥ プレートの抜去方法

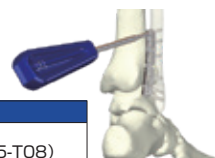
① スクリューの抜去について

スクリューの抜去を行う際には、必ず抜去専用ドライバーを用いて抜去を行って下さい。スクリューとドライバーの関係は表の通りです。

注意: 抜去の際は、遠位の2.7mmロッキングスクリューによるプレート拘束力を除去する為、必ず近位のスクリューより抜去を開始し、近位部の抜去後、遠位部の抜去を行って下さい。

注意: トルクリミテーション機構は正回転時のみ正確な値を示す様に調整されており、逆回転には対応していません。この為、トルクリミテーションドライバーを抜去到用した場合、故障の原因となります。

使用箇所	スクリュー径	抜去用ドライバー
遠位部	2.7mm	・トルクスドライバー (識別色:黒色/503B-005-T08) ・トルクススモールドライバー (識別色:黒色/503B-012-T08)
近位部 および遠位部	3.5mm	・トルクスドライバー (識別色:青色/503B-005-T15-BLU)



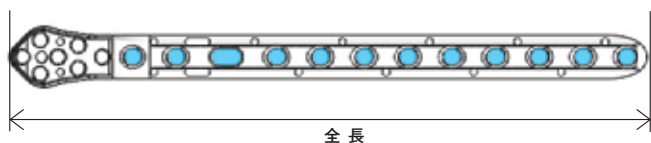
② プレートの抜去について

スクリューを全て抜去した後、プレートを骨面より取り去って下さい。



Ordering Information

Salus Loc Fibula lateral

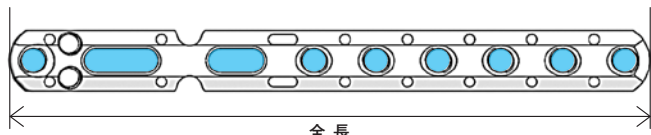


※青色箇所が穴数になります。(図は12穴)

穴数	全長	カタログ番号	幅
4穴	65.5mm	M071A-001-004	近位部 10mm
5穴	75.5mm	M071A-001-005	
6穴	85.5mm	M071A-001-006	遠位部 14mm
7穴	95.5mm	M071A-001-007	
9穴	115.5mm	M071A-001-009	
12穴	145.5mm	M071A-001-012	

※12穴はオプションになります。

Salus Loc Fibula posterolateral



※青色箇所が穴数になります。(図は9穴)

穴数	全長	カタログ番号	幅
5穴	63mm	M071A-002-005	10mm
6穴	73mm	M071A-002-006	
7穴	83mm	M071A-002-007	
8穴	93mm	M071A-002-008	
9穴	103mm	M071A-002-009	

Screw (滅菌)

- ・弊社従来品*のスクリーを見直し、スクリーヘッドの低頭化を実現しました。
- ・各スクリーケースとパッケージには識別しやすいカラーコードを採用しました。
- ・3.5mmノンロッキングコーティカルスクリーはラグスクリー法や脛腓関節固定法に考慮したサイズバリエーションとしました。



2.7mmスクリー

全長	カタログ番号	セット入り数
10mm	M069A-027-010	2
12mm	M069A-027-012	2
14mm	M069A-027-014	2
16mm	M069A-027-016	2
18mm	M069A-027-018	2
20mm	M069A-027-020	2
22mm	M069A-027-022	2
24mm	M069A-027-024	2

販売名: Dual Loc Ralii システム
承認番号: 22800BZX00220000



2.7mmロッキングスクリー

全長	カタログ番号	セット入り数
8mm	M069A-127-008	2
10mm	M069A-127-010	3
12mm	M069A-127-012	5
14mm	M069A-127-014	5
16mm	M069A-127-016	5
18mm	M069A-127-018	5
20mm	M069A-127-020	3
22mm	M069A-127-022	3
24mm	M069A-127-024	2
26mm	M069A-127-026	2

2.7mmロッキングスクリー 8mm
販売名: メイラ Ankle locking plate system
承認番号: 30100BZX00147000

販売名: Dual Loc Ralii システム
承認番号: 22800BZX00220000



3.5mmノンロッキングコーティカルスクリー

全長	カタログ番号	セット入り数
12mm	M071A-035-012	4
14mm	M071A-035-014	4
16mm	M071A-035-016	4
18mm	M071A-035-018	4
20mm	M071A-035-020	3
22mm	M071A-035-022	3
24mm	M071A-035-024	2
26mm	M071A-035-026	2
28mm	M071A-035-028	2
30mm	M071A-035-030	2
32mm	M071A-035-032	2
34mm	M071A-035-034	2
36mm	M071A-035-036	2
38mm	M071A-035-038	2
40mm	M071A-035-040	2
42mm	M071A-035-042	2
44mm	M071A-035-044	2
46mm	M071A-035-046	2
48mm	M071A-035-048	2
50mm	M071A-035-050	2

販売名: メイラ Ankle locking plate system
承認番号: 30100BZX00147000



3.5mmロッキングコーティカルスクリー

全長	カタログ番号	セット入り数
12mm	M071A-135-012	4
14mm	M071A-135-014	4
16mm	M071A-135-016	4
18mm	M071A-135-018	4
20mm	M071A-135-020	3
22mm	M071A-135-022	3
24mm	M071A-135-024	2
26mm	M071A-135-026	2
28mm	M071A-135-028	2
30mm	M071A-135-030	2

販売名: メイラ Ankle locking plate system
承認番号: 30100BZX00147000

2021年1月 ver.2

※弊社従来品の2.7mmスクリー/2.7mmロッキングスクリー (承認番号: 22100BZX00461000、販売名: メイラ 脛骨遠位端プレートシステム)、3.5mmソリッドコーティカルスクリー (承認番号: 21700BZX00179000、販売名: メイラ チタニウムスクリー)、3.5mmロッキングスクリー (フルスレッド) (承認番号: 22500BZX00034000、販売名: メイラ ロッキングプレートシステム) は使用できません。

製造販売業者



TEL 0575-24-7059

製造業者
問い合わせ先

メイラ株式会社
メイラ株式会社 メディカル事業部 営業部 業務課 TEL 052-459-1277 (直通) / FAX 052-459-1282